

紅薔薇夫人

べにばらふじん

原作◎団鬼六 藤原健一 監督作品

坂上香織 大沢樹生 津田寛治

清水昭博 永瀬光 黒田瑚蘭 宝井誠明 勝矢秀人 藤原常吉
製作 松下順 企画 加藤東司 佐佐木 長川伸人 プロデューサー 寺西正己 脚本 藤原健一
撮影 中尾光 照明 小川満 録音 鈴木靖 音楽 青木賢 ライフデザイン ユーサー 浅木大
助監督 松本 編集 高橋 フルタクライト 撮影助手 田宮健彦 照明助手 八木健
△タイトル 佐々木 衣笠 坂本志穂 スチール 中居孝子 音響効果 シネサウンドワークス
混音 東映サウンド 制作協力 フィルマックス ムービーキネ
製作 株式会社トキエ 日活株式会社 新東宝映画株式会社

狂いそうだった…
そのあまりの美しさに

原作・団鬼六×主演・杉本彩×監督・石井隆で放たれた問題作：壮絶な濡れ場、過激なSMシーンが話題となり大ヒットを記録した『花と蛇』。それから2年…。SM小説の大家・団鬼六の真骨頂である「落下狼籍の被虐世界」が繰り広げられ、原作者自らが最も愛した不朽の名作『紅薔薇夫人』が待望の映画化。監督には多くのVシネマの監督を経て、『イズ・エー』[isA]で数々の賞を受賞しその才能を開花した藤原健一。そして、主演の美希夫人役には、80年代末にアイドルとして華々しくデビューを飾り、その後多くの映画、ドラマで活躍を続ける坂上香織が挑む。全身の自由を奪われたうえに、最愛の娘の目の前で恥辱…。その美しき肉体と女優魂は観る者を間違いないく「酔わせる」だろう。「体当たりの演技」などという軽々しい言葉を超えた壮絶な演技と美しき肢体が全編を圧倒。共演には、映画・テレビ・舞台等において個性的な演技で活躍中、Vシネマ『野良犬』でも藤原監督とコンビを組んだ大沢樹生。もはや日本映画界には欠かせない名バイプレイヤー、津田寛治。他に、ハードな内容にもかかわらず新人とは思えぬ演技を披露した永瀬光など、団鬼六の過激で淫靡な作品世界を個性的な俳優陣が脇を固める。

原作・団鬼六×主演・坂上香織

太平洋戦争の最中、戦地の病院に相田（大沢樹生）は負傷した青木津田寛治という男からあるものを託される。青木が描いたスケッチブック。そこには、とある美しい女をモデルとした綺麗な絵が描かれていた。以前、ある資産家の運転手をしていた青木が、その家の夫人に対する目録の思いを綴ったスケッチブック。死を覚悟していた彼は、帰国した際にその絵を夫人に渡して欲しいと相田に頼む。美しいものは壊してしまいたい。そう言い残すのだ。

帰国した相田は早速、夫人・有川美希（坂上香織）に預かっているスケッチブックを渡し、彼女の優雅にして華麗な美しさを目の当たりにした相田は、青木の言葉の意味がわかった気がしたのだ。

9年後、日本は敗戦し、相田は荒れた毎日を送っていたのだが、ふとしたきっかけで青木との運命的な再会を果たす。しかし、青木はつづきのかやつかの「味」になっていた。一味の親分である堀内は、敗戦とともに没落した美希の夫に多額の金を貸しており、その借金のかたに美希と娘の出美子（清水光）を手中にし、「紅薔薇夫人」という高級娼婦館で働かせるつもりだった。青木はその堀内に唯々諾々と従うようだったが、一方の相田はとうとうすることもできなかった。

やがて、運命の日が近づいてきた。夫の命を助けるために堀内の家へやってきた美希を青木は縛り、晒しものにした。こうして母娘に対する恥辱の限りが尽き、残された淫靡なSM地獄へと落ちていくのだ。

優雅にして華麗な夫人を襲う

落花狼籍の被虐世界



坂上香織「のど自慢」「怪談新耳袋」大沢樹生「デビルマン」「怪談新耳袋」津田寛治「妖怪大戦争」「模倣犯」永瀬光（新人）黒田瑞穂 宝井誠明 勝矢秀人 藤原常吉 清水昭博
監督・脚本：藤原健一「イズ・エー」[isA] 原作：団鬼六「紅薔薇夫人」製作：松下順一 企画：加藤東司／赤荻武／衣川仲人 プロデューサー：寺西正己 脚本：藤原健一 撮影：中尾正人 照明：小川満 録音：永口靖
音楽：青木賢一 ラインプロデューサー：浅木大 助監督：松尾崇 編集：金子尚樹 フィルムクラフト 撮影助手：田宮健彦 照明助手：八木徹 ヘアメイク：佐々木愛 衣装：塚本志穂 スチール：中居幸子
音響効果：シネマサウンドワークス 現像：東映ラボ・テック 制作協力：フィルムワークス ムービーキング 製作：株式会社アートポート／日活株式会社／新東宝映画株式会社 配給：新東宝映画株式会社
2006年／日本／70分／35mm／ビスタサイズ／ ©2006 団鬼六／アートポート／日活／新東宝映画

5.27[sat]より狂乱の独占レイトロードショー!

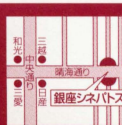
当日：一般¥1,800／女性・シニア¥1,000

初日舞台挨拶

坂上香織、団鬼六、藤原健一、他（予定）

銀座三越先・歌舞伎座手前
銀座シネバース

連日 20:50～



TEL. 03-3561-4660 URL. <http://www.humax-cinema.co.jp>

◆HP (<http://www.artport.co.jp/movie/venibara/>)にて最新情報随時UP! CHECK IT!